ごあいさつ

新時代の公民館研究集会を！

公益社団法人全国公民館連合会　会長
中西　彰

「第44回全国公民館研究集会 第62回関東甲信越静公民館研究大会茨城大会 第８回関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会」を開催するにあたり、主催者の一員としてひとことご挨拶申し上げます。

令和の時代を迎えましたが、ここ３年近くもコロナ対策に終始し、私たちにとっても公民館にとってもたいへんな試練が続いております。「集う」「結ぶ」ことを大切にしてきた公民館に、人びとが安心して集えない状況が続き、コロナ対策の徹底など、多くの対応に迫られました。こうしたなか、本連合会でも「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を策定しましたが、多くの公民館においても独自のガイドラインをつくり、それぞれのお立場でコロナ対策に努力をされてきたことと思います。

公民館は、生涯学習や住民自治などの理念に立ち、地域づくり・人づくりの中核的機関として、地域住民や関係者の営々たる努力に支えられてきました。その過程では、高度経済成長や都市化、少子高齢化の進展、さらには行財政改革・規制緩和・地方分権等の動向など、さまざまな荒波に大きく影響を受けながらも、創意工夫によって充実した活動実践に努めてきました。また、新型コロナウイルス感染拡大という事態においても、皆様のご尽力により充実した公民館活動が展開されてきたことに深く敬意を表します。

地域社会ひいては日本社会の未来を切り拓くためには、公民館は多くの関係機関や関係者と積極的に連携・協働して、新しい時代に合った地域づくり・人づくりを展開していかなければなりません。この新型コロナウイルスへの対応という事態においても、公民館が創意工夫によって新しい時代の公民館活動が展開されることを期待しております。

本大会に参加した皆様が、ここで学んだ成果を活かして、公民館が地域の人びとの絆を結び、人びとのかけがえのない拠り所となることを願っております。

おわりに、文部科学省をはじめ、地元である茨城県、そして本大会開催のためにご尽力くださった公民館関係者、及び関係機関・関係団体の皆様に感謝を申し上げます。そして、本日お集まりの皆様の今後の限りないご発展・ご活躍をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。